

# 資料－5－1

第35回 荒川太郎右衛門地区自然再生協議会  
2013年12月3日

## 管理目標WGの活動

# 1. 会議の開催

- 第34回協議会(平成25年7月29日)以降、管理目標ワーキングの会議は、8月30日(生態系モニタリング専門委員会との合同)と、10月28日(管理目標ワーキング単独)の2回開催しました。
- 第12回(8月30日)の会議では、「モトクロス場跡地AおよびDの除草前の立ち会い状況」、「維持管理方針の検討に向けた植生図の見直し」と「これまでの事業進捗と今後の方針」について議論を行いました。
- 第13回(10月28日)の会議では、「工事箇所の立ち会い状況」、「台風18号、26号の効果と影響について」の報告と、「維持管理の検討方針」および「平成25年度工事」の内容について議論を行いました。

## 会議

【合同会議の開催】 上尾市文化センター  
第12回 平成25年8月30日 9:30~11:30

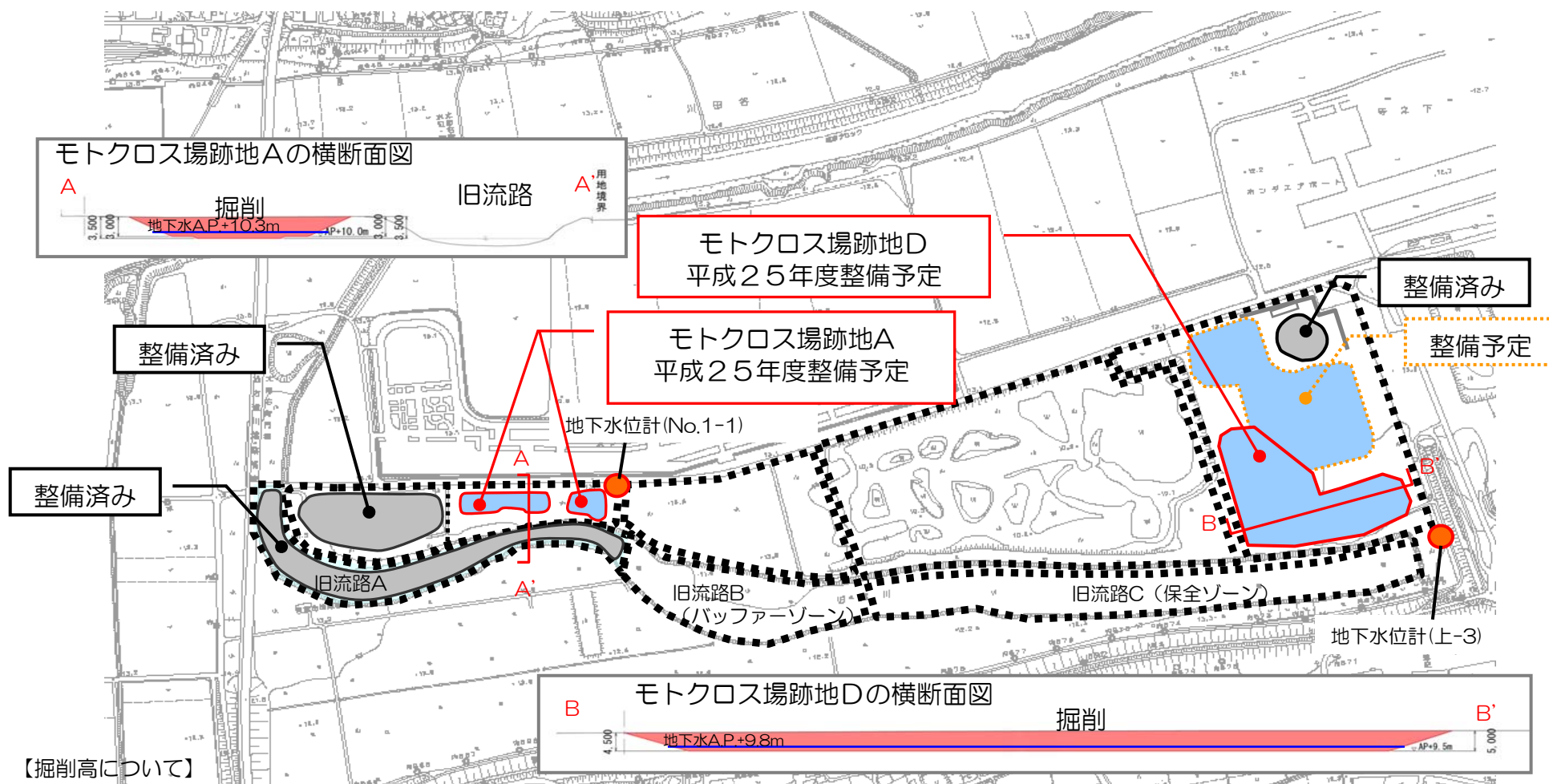


【会議の開催】 上尾市文化センター  
第13回 平成25年10月28日 9:30~11:45



## 2. 工事の立ち会い

●今年度は赤い線で囲まれている、モトクロス場跡地Dの一部とモトクロス場跡地Aの残りの箇所の掘削を行います。



- モトクロス場跡地A及びDは、掘削前の旧流路の河床高とします。
- ◇モトクロス場跡地Aの掘削高…AP+10.0m  
(No.1-1地下水位：平水位AP+10.3m、最低水位AP+9.3m)
- ◇モトクロス場跡地Dの掘削高…AP+ 9.5m  
(上-3地下水位：平水位AP+9.8m、最低水位AP+8.8m)

第34回荒川太郎右衛門地区自然再生協議会資料より

## 2. 工事の立ち会い

- 工事に入る前の8月21日に、モトクロス場跡地AおよびDの立ち会いを行いました。
- 工事に際して注意すべき事項としてあげたのは以下の2点です。
  - ・ カヤネズミが繁殖している可能性があるので、除草の際には「片押し」（片側からのみ実施する・・・ネズミが逃げられるようにする）とし、もし巣が見つかった場合は刈り残すこととする。
  - ・ 昨年度に掘削した旧流路の土が余っていれば、掘削後にこれを撒き出す。
- なお、8月21日では樹木が生えている場所まで確認が出来なかったため、伐採する時には再度立ち会いを行うこととしました。

日時： 8月21日 15:30～16:30  
場所： モトクロス場跡地AおよびD  
立ち会い： 堂本委員、菅間委員



## 2. 工事の立ち会い

- 樹木の伐採については、9月6日に立ち会いを行い、伐採して良い樹木と残す樹木を選びました。
- 在来種で、成長した樹木を残すこととしました。

日時 : 9月6日 16:30~17:30  
場所 : モトクロス場跡地AおよびD  
立ち会い: 堂本委員、菅間委員



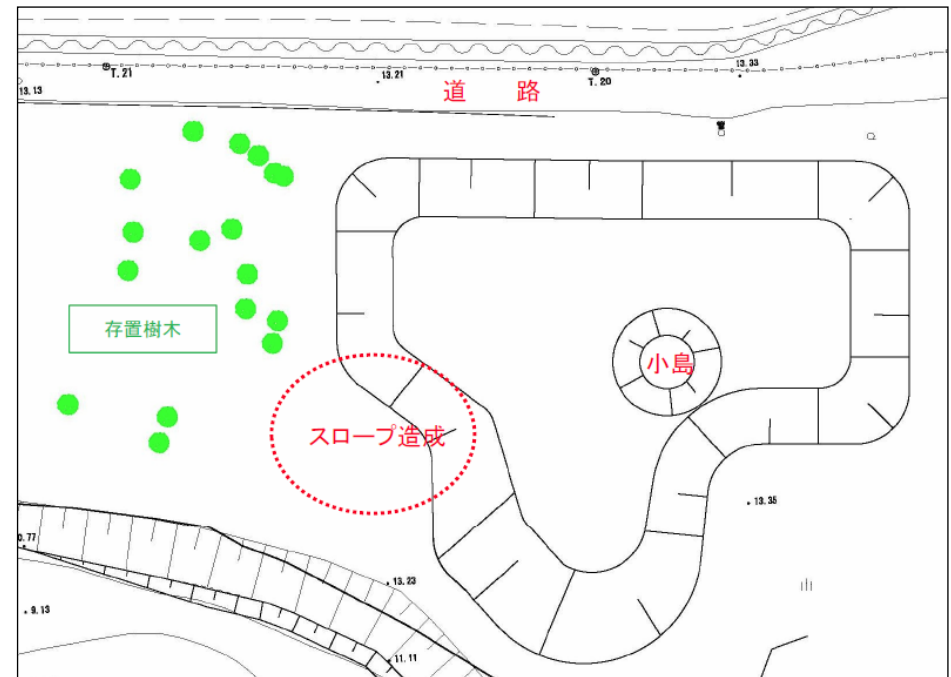
## 2. 工事の立ち会い

- 10月28日に、掘削時のアンジュレーションの確認のための立ち会いを実施しました。
    - ・アンジュレーションについては概ねOK。次からの掘削地ではもう少し大胆にアンジュレーションを施す。
    - ・一部スロープを造る。（下図参照）
    - ・法面への撒き出し土を施工する前に再度ゴミを除去する。
    - ・小島については天端に土砂を置いておき、雨等で自然なアンジュレーションになる様に行う。
    - ・覆土については、12月3日に開催される自然再生協議会までに完了させる。
- ※モトクロス場跡地(A)存置分（埋め土）1500m<sup>3</sup>を試験掘削地の法面への撒き出し用へ流用する予定とする。

日時：10月28日 13:30～14:30  
場所：モトクロス場跡地AおよびD  
立ち会い：堂本委員、菅間委員



【スロープの造成場所】



### 3. 台風18号、26号の効果と影響について

- 9月16日の台風18号で、整備地に本川の水が流入し、今年度、初めて開放水面が形成されました。
- 10月16日の台風26号では、18号を上回る量の本川の水が整備地に流入し、広い水面が形成されました。

撮影日 : 9月19日



台風18号(9/16)

撮影日 : 8月22日



台風26号(10/16)

撮影日 : 10月17日



この時の呑口



旧呑口からは大量の水が流出していました。

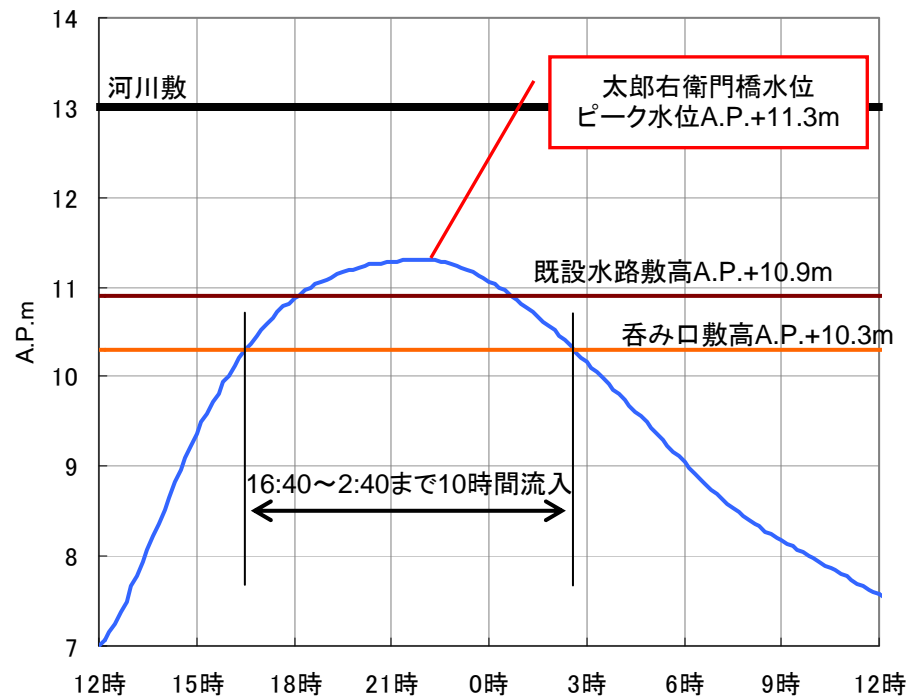


新呑口からは水の流出はありませんでした。ゴミが溜まっていた。

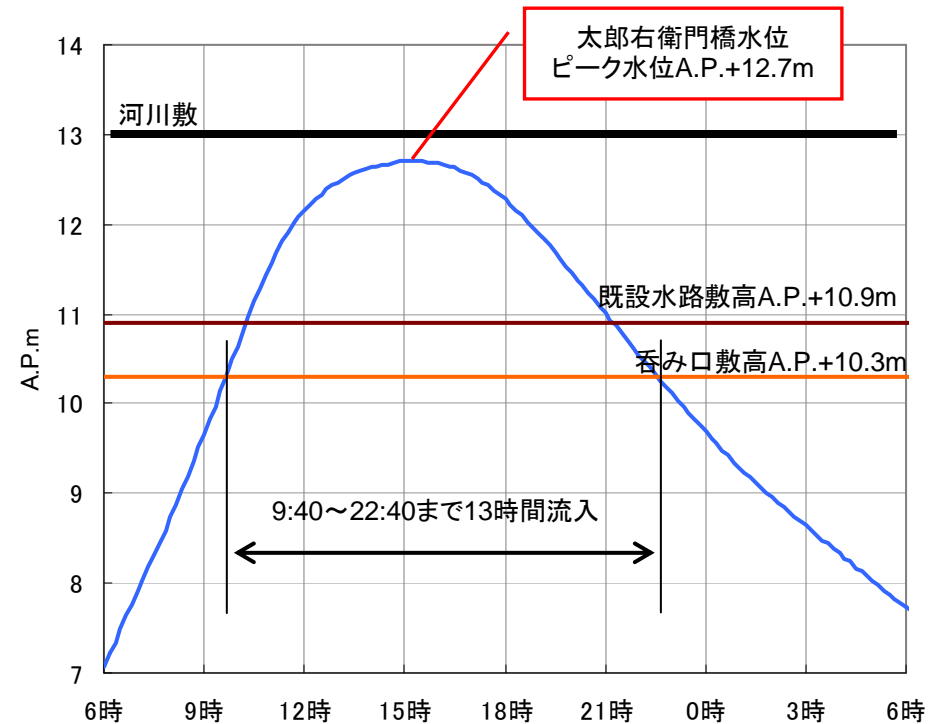
### 3. 台風18号、26号の効果と影響について

- 整備地への本川の水の流入は、9月16日の台風18号ではピーク水位A.P.+11.3mで、流入は10時間、10月16日の台風26号ではピーク水位がA.P.+12.7mで流入時間は13時間でした。
- この差からも、10月16の台風26号による流入量の方が多かったものと考えられます。

2013/9/16 台風18号



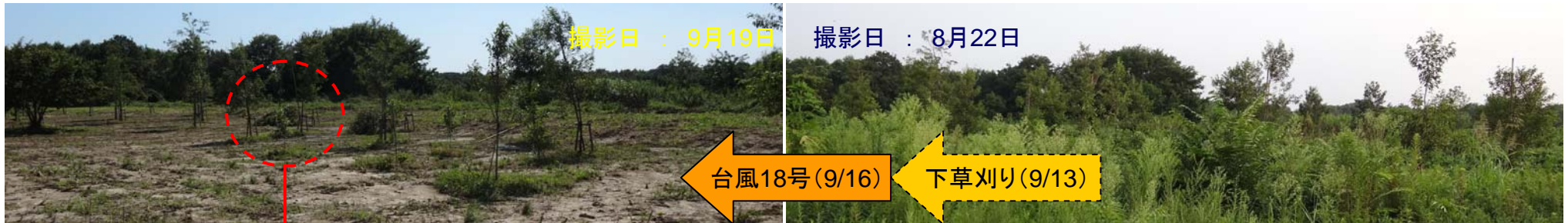
2013/10/16 台風26号





### 3. 台風18号、26号の効果と影響について

- 9月16日の台風18号では、移植地のハンノキが2本倒れました。また、添え木の外れや傾きが7本でした（うち1本は枯死個体）。倒伏した個体は、添え木に引きずられる形で倒れていたので、修繕対応しました。
- 10月16日の台風26号では、目視で確認できるような被害はありませんでした。



撮影日 : 10月7日  
最終的な処置後

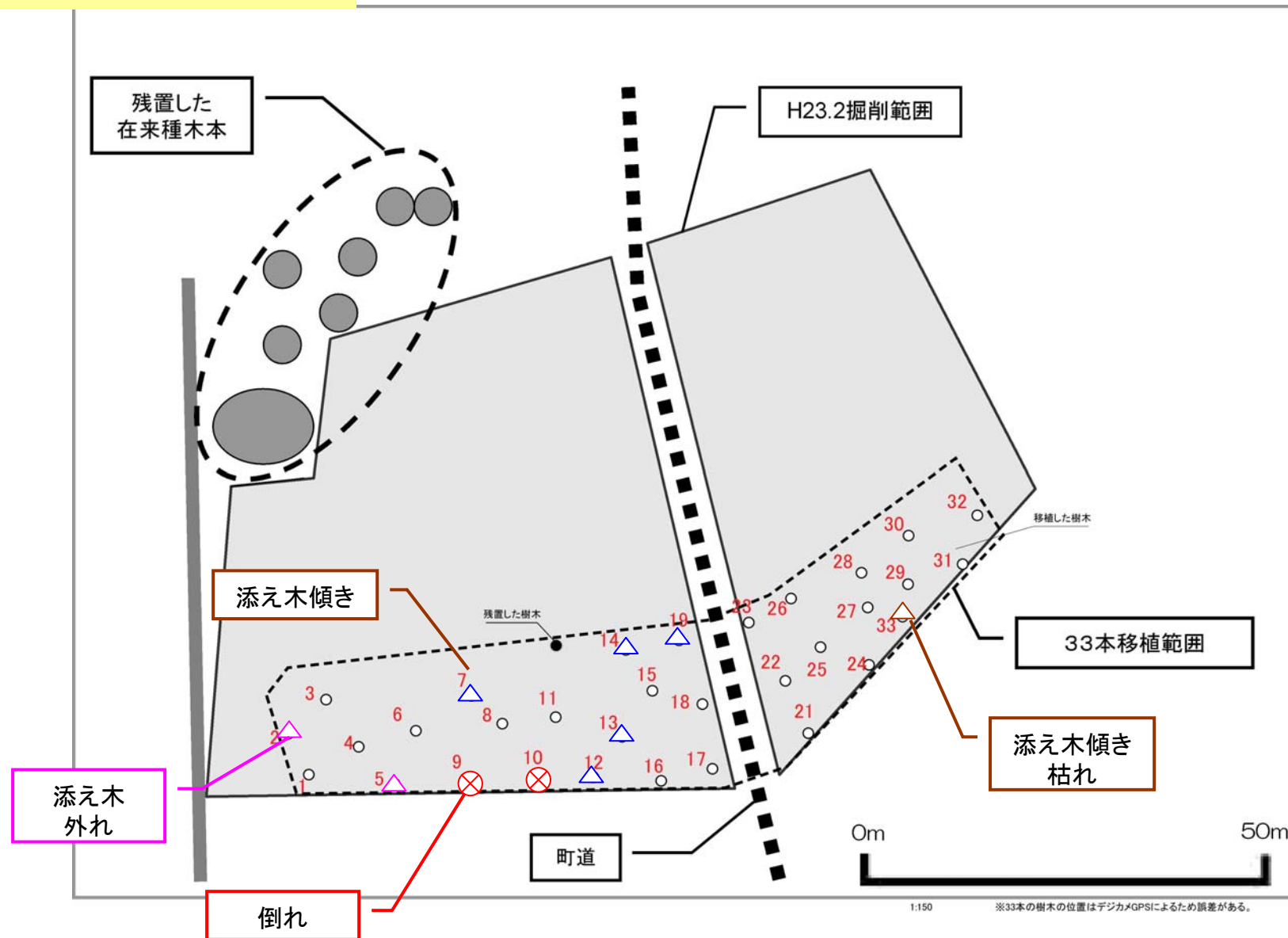
台風26号(10/16)



被害の確認無し

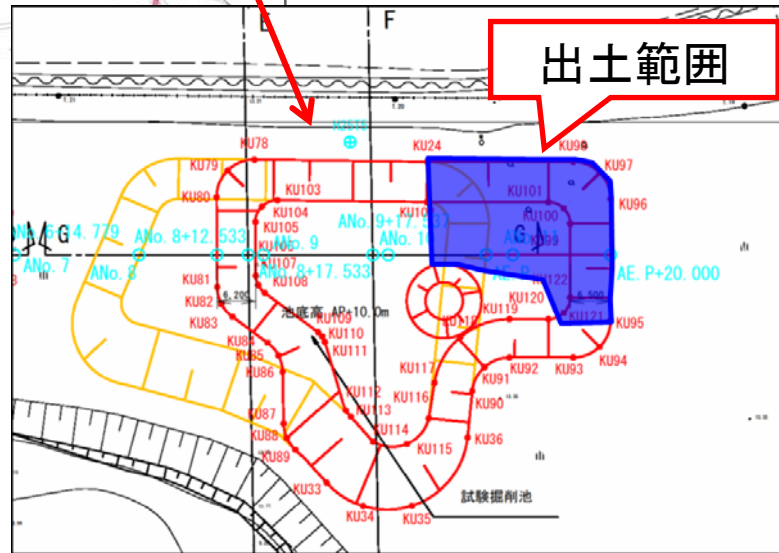
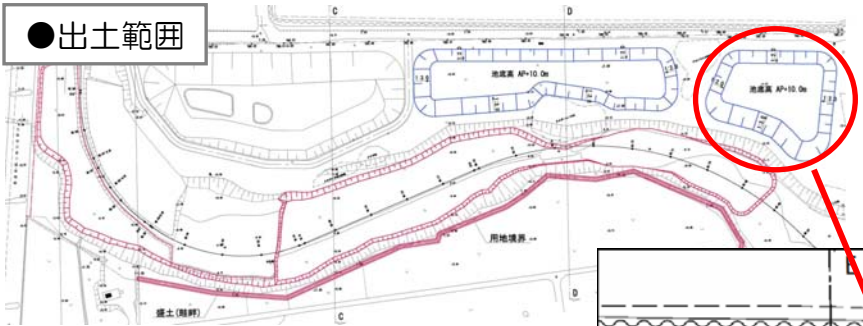
### 3. 台風18号、26号の効果と影響について

9/16の台風16号での被害の分布



# 4. 工事の状況について

● 出土範囲



● 産業廃棄物の状況



コンクリートガラ



木片

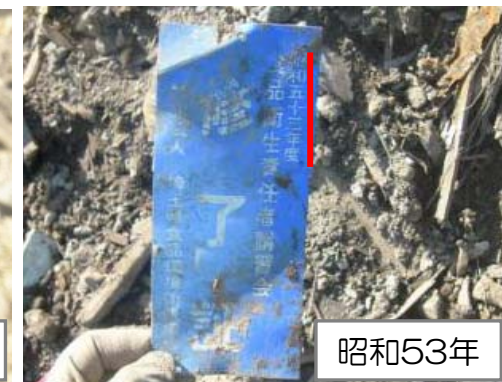
● ゴミの種類と埋土位置



● 廃棄物の年代



昭和62年1月24日



昭和53年

## 5. 掘削範囲の変更について

モトクロス場跡地Dについては、試験掘削において湧水が発見されたので、状況を見ながら施工していきます。

